

緊急地震速報(予報) 受信装置取扱説明書

SH210-J(R)・(F)



株式会社ドリームウェア

当社ホームページでは、各商品の最新情報などを提供しております。

当社ホームページ <http://www.dpass.jp/>

使用方法などでご不明な点がございましたら、下記へご相談ください。

E-mail : 1nf0@dpass.jp

(対応は、平日 10:00 ~ 17:00 土 / 日 / 祭日 / 年末年始を除く)



本製品はお客様のご加入のCATV局が「緊急地震速報(予報)配信サービス」を実施していないと正常に動作しませんので、予めご加入のCATV局へご確認ください。

また、お客様の購入した本製品のIDと住所などの情報が該当地域のCATV局に登録されないとは正常に報知動作しません。

登録の手続きが完了するまでの間、本取扱説明書をよくお読みください。

© 2017 DreamWare Inc.

P0-512171-01 (SH210-J(R)(F))



P0-512171-01 (SH210-J(R)(F))

目次

1. 安全上のご注意	3
2. ご利用になる前に	12
3. 各部の名称	15
4. 報知表現	17
5. 機器の接続と設置	18
6. 動作確認	19
7. 機器の操作	21
8. 故障かな?と思ったら	24
9. 仕様	26
10. オプションユニット(子機)	27
11. 保証規定	29
12. 保証書	30
13. その他	31



緊急地震速報を利活用する装置は、受信情報を正しく処理し利用者の地震防災に有益な情報を提供できるよう、技術基準を制定してその適合性を確認する必要があります。

REIC認証は、リアルタイム地震情報利用協議会(REICと称する)が関連機関や学識経験者の協力の基に、緊急地震速報の利活用に係わる装置などにつき技術基準と品質基準を定め、製造された利活用装置などの適合性を公正かつ厳正に審査して認証し、緊急地震速報の円滑な利活用の推進を図ることを目的としたものです。

本製品は、上記の認証を取得したシステムの受信端末です。

1 安全上のご注意

■ 安全にお使いいただくために

本取扱説明書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。

本製品をお使いになる前に、本取扱説明書を熟読してください。特に「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解された上で本製品をお使いください。また、本取扱説明書は、本製品を使用中いつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

■ 本製品の用途について

本製品は、一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途を言います。

- ・ 原子力施設における核反応制御、航空交通管制、大量運送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器等。

■ 注意

- ・ 本製品は、家庭環境で使用することを目的としておりますが、ラジオやテレビに近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。
- ・ 本製品は、本取扱説明書に従って正しく取り扱ってください。
- ・ 本製品には有寿命部品が含まれています。
- ・ 部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- ・ 本製品の使用環境は、温度0～40℃(93%)RH以下(ただし、結露しないこと)です。
- ・ 本製品は、日本国内での使用を前提に製造しており、海外では使用出来ません。
- ・ 電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めいたします。
- ・ 誘導雷対策としては、予め同軸ケーブル、電源アダプタを接続の際に同梱の避雷器(アレスタ)、雷防止タップ(別途お客様でお手配)等の雷サージ対策を行うことをお勧めいたします。

1 安全上のご注意

■ 本製品のご利用について

緊急地震速報(予報)配信サービスを行っているCATV局への加入及びサービス申し込みが必要になります。

■ 緊急地震速報(予報)とは

- 地震の揺れの仕組みは地震が発生するとP波(初期微動)およびS波(主要動)と呼ばれる2つの波が地中を伝播します。この波の伝播速度はP波のほうがS波より速いため、最初にP波が伝わり、それから主要動と呼ばれる大きな揺れをもたらすS波が伝わってきます。
- 日本全国にある約4,200カ所の観測点からの情報を利用し、地震発生時には震源に近い観測点(地震計)でこのP波をとらえます。そのデータから直ちに震源(経度・緯度)、地震の規模(マグニチュード)を推定し、これを情報として迅速に利用者に提供するシステムを「緊急地震速報(予報)」と言います。
- 本製品はこの情報を受信し、設置している地域の各種情報(経度、緯度、地盤増幅度)を基に実際に起こる地震の揺れ(震度)と到達までの時間を予測演算し報知を行ないます。
※地盤増幅度とは・・・表層地盤の構造(硬さ)をもとに揺れの伝わる割合を表すものです。
- システム上、報知が実際の地震到達に間に合わなかったり、予測数値に誤差が生じたり、また誤報を受信する場合がありますので、予めご了承ください。
- 緊急地震速報(予報)の原理的限界等のため、情報のご利用に当っては、次のようなおそれがありますので、事前の十分なご理解が不可欠です。予めご了承ください。
 - 直下型地震の場合など震源が近い場合には、緊急地震速報(予報)が主要動の到達に間に合わない、もしくは予測猶予時間が極端に短い場合があります。
 - 震度、到達猶予時間などの予測演算数値には誤差があります。
 - 震源の深さが150km以上の場合、予測精度が十分でないため誤差が大きくなったり、報知をしない場合があります。
 - 地震以外の要因(事故、落雷など)によって、誤報の場合があります。

1 安全上のご注意

■ 緊急地震速報(予報)の発信条件

- 気象庁の多機能型地震計設置のいずれかの観測点において、P波またはS波の振幅が100ガル以上となった場合。(※1)
- 解析の結果、震源・マグニチュード・各地の予測震度が求まり、そのマグニチュードが3.5以上、または最大予測震度が3以上である場合。なお、この基準は変更する場合があります。

(※1) 1点の観測点のみの処理結果によって緊急地震速報(予報)を発信した後、所定の時間が経過しても2観測点目の処理が行われなかった場合はノイズと判断し、発表から数秒~10数秒程度でキャンセル報を発信します。島嶼部など観測点密度の低い地域では、実際の地震であってもキャンセル報を発信する場合があります。なお、この場合には、キャンセル報の発信までに30秒程度がかかることがあります。(キャンセル報については、P.20を参照してください)

■ 緊急地震速報(予報)をご利用になる上でのご注意

- 本製品は、お客様の地震による被害を極力少なくするためのものであり、お客様の財産や命を守るものではありません。
- 安定稼働させるために、定期点検を必ず実施してください。
- 実際に地震が発生した時のために、避難経路などを確認し、日頃から地震対策を十分に行なうよう周知してください。
- 実際の地震速報を受信した場合、報知に驚かず、地震に対する対策を日頃から訓練し、冷静に行動してください。
- 緊急地震速報(予報)の受信は、お客様御自身の責任でなされるものであり、弊社および販売元は、使用によって発生したいかなる損害(速報内容の誤報により生じた損害を含み、直接損害・間接損害の別を問わない)やその修理費用等に関して、一切の責任を負いません。

1

安全上のご注意

■ 安全にお使いいただくための絵記号について

- ・ 本製品に添付されているACアダプタの電源プラグは「平行2極プラグ」です。本取扱説明書では「電源プラグ」と表記しています。
- ・ 接続先のコンセントには「平行2極プラグ(125V15A)用コンセント」をご利用ください。本取扱説明書では「コンセント」と表記しています。

本取扱説明書では、いろいろな絵記号を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを表しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性があることを表しています。

また、危害の内容がどのようなものかを表すために、上記の絵記号と同時に次の記号を使っています。



この記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の横には、具体的な警告内容が示されています。



この記号は、禁止行為であることを告げるものです。記号の横には、具体的な禁止内容が示されています。



この記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の横には、具体的な指示内容が示されています。

1

安全上のご注意

■ 設置される時



警告



使用できる電源は交流100V(50/60Hz)です。

それ以外の電圧では使用しないでください。感電・火災の原因になります。



同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。

ケーブルやコンセントが過熱し、火災の原因になります。



梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。

口に入れたり、頭にかぶったりすると窒息の原因となります。



注意



振動している場所や傾いた場所などの不安定な場所に置かないでください。

また、重いものを上に載せないでください。

本製品の破損だけでなく、けがの原因になります。



本製品を移動する場合は、必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。

また、接続している他のケーブルも外し、作業は十分注意して行なってください。

ケーブルが傷つき、感電・火災の原因や本製品が落下して、けがの原因になることがあります。

1

安全上のご注意

■ ご使用になるとき



警告



本製品をお客様ご自身で修理・分解・改造しないでください。

感電・火災の原因になります。

修理や点検などが必要な場合は、弊社または販売元にご連絡ください。



添付もしくは指定された物以外のACアダプタを本製品に使わないでください。

感電・火災の原因になります。



電源プラグにドライバーなどの金属を近づけないでください。

感電・火災の原因になります。



使用中の本体を布で覆ったり、包んだりしないでください。

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

ACアダプタは、次のことに注意してお取扱ください。

感電・火災もしくは発熱によるやけどの原因になることがあります。

- ・ 絶対に分解しないでください。
- ・ 電源プラグは、根元までしっかり差し込んでください。
- ・ 水を使用する場所、湿気、ほこりの多い場所で使用しないでください。
- ・ 電源プラグは、ほこりや水滴が付着していないことを確認してから差し込んでください。付着している場合は、乾いた布などで拭き取ってから差し込んでください。また、濡れた手で触れないでください。
- ・ 熱がこもるような環境で使用したり、放置したりしないでください。
- ・ 上に物を置かないでください。
- ・ 定格に沿ったコンセントを使ってください。
- ・ コンセントとの接続部分などに溜まってしまうほこりやゴミはよく拭き取ってください。



1

安全上のご注意



本製品は、水を使用する場所、湿気、ほこりの多い場所では使用しないでください。
電気絶縁の低下によって感電・火災の原因になります。

また、本体内部にほこりが溜まることによって、精密部品の冷却を妨げ、故障ややけどの原因になります。



ケーブル類は確実に配線し、傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、破損させるようなことはしないでください。

破損した状態でお使いになると感電・火災の原因になり、本体および外部機器が故障するばかりでなく、正しく動作させることが出来なくなります。



本製品の各種端子には、弊社または販売元が指定したケーブル、コネクタ以外の物は差し込んだりしないでください。



本製品、ケーブルとも上に重量物を載せないでください。

また、直射日光が当たる場所、熱器具のそばに設置、配線しないでください。
接続機器などの故障の原因になります。



温度差のある場所へ移動し使用する場合、その温度差が大きい場合は、表面や内部が結露することがあります。

結露した状態で使用すると、発煙・感電・火災の原因になります。

使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。



電波障害について、他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼすことがあります。

特に近くに影響を受けやすい機器などがある場合は、コンセントを別にするなど処置をしてください。



音量を下げすぎないでください。小さい音量に設定していると緊急地震速報(予報)が聞こえない原因となる場合があります。



安定稼働させるために、本製品・接続ケーブルなど全般について、定期点検を必ず実施してください。

1 安全上のご注意

■ 異常や故障のとき



警告



ACアダプタの電源ケーブル、電源プラグが傷ついている場合は使用しないでください。感電・火災の原因になります。



本製品から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、ACアダプタをコンセントから抜いてください。その後、異常な現象がなくなったことを確認して、弊社または販売元にご連絡ください。異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因になります。



本体の内部に水等の液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐにACアダプタをコンセントから抜いてください。その後異常な現象がなくなったことを確認して、弊社または販売元にご連絡ください。異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因になります。

■ その他



警告

本製品は、一般事務所用、家庭用などへの一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。



ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途を言います。

- ・ 原子力施設における核反応制御、航空交通管制、大量運送システムにおける運行制御、生命維持のための衣料用機器、等。

1 安全上のご注意



本製品の廃棄については、一般廃棄物の扱いとなります。各地方自治体の廃棄処理に関する条例または規則に従ってください。本製品は「廃棄物の処理および清掃に関する法律」の規制を受けます。



心臓ペースメーカーを装着時の使用
心臓ペースメーカーの装着部分から22cm以上離し使用してください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。



本製品は、お客様の地震による被害を極力少なくするためのものであり、お客様の生命や財産を直接的に守るものではありません。
実際に地震が発生したときのために、避難経路などを確認し、日頃から地震対策を十分に行なってください。



緊急地震速報電文の受信は、受信者自身の自己責任でなされるものであり、弊社および販売元は、使用によって発生した如何なる損害(速報内容の誤報により生じた損害を含み、直接損害・間接損害の別を問わない)やその修理費等に関して、一切の責任を負いません。

■ 地震発生時の定義とその状況

- 震度 0
人は揺れを感じない。
- 震度 1
屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。
- 震度 2
屋内にいる人の多くが、揺れを感じる。眠っている人の一部が、目を覚ます。
電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。
- 震度 3
屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。恐怖感を覚える人もいる。
棚にある食器類が、音を立てることがある。
- 震度 4
かなりの恐怖感があり、一部の人は、身の安全を図ろうとする。
眠っている人のほとんどが、目を覚ます。
つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。歩いている人も揺れを感じる。
- 震度 5 弱
多くの人が、身の安全を図ろうとする。一部の人は、行動に支障を感じる。
つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。
窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。補強されていないブロック塀が崩れることがある。
- 震度 5 強
非常な恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。
棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。
補強されていないブロック塀の多くが崩れる。据え付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。多くの墓石が倒れる。自動車の運転が困難となり、停止する車が多い。
- 震度 6 弱
立っていることが困難になる。固定していない多くの重い家具が移動、転倒する。地割れや山崩れなどが発生することがある。多くの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損・落下する。
- 震度 6 強
立っていることができず、はわないと動くことができない。多くの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損・落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
- 震度 7
揺れに翻弄され自分の意志で行動できない。ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。大きな地割れ、地すべりや山崩れが発生し、地形が変わることもある。

■ 日頃からの対策

地震は、いつどのような規模で起こるかわかりません。せっかくの緊急地震速報(予報)も、事前の準備ができていなければ利用価値が半減してしまいますので以下を参考にお客様自身で事前の準備を十分に行なってください。

- 家具が倒れたり、上にあるものが落ちたりすると、けがをするばかりでなく、避難時の障害にもなります。市販の固定器具などを利用し、家具の固定・転倒防止をしておきましょう。また、棚の上のものは容易に落下しないようにしておきましょう。
- 寝室など常時いるような場所は、倒れやすいものを置かず、避難経路を確認しておき、非常時はすぐに避難できるようにしておきましょう。また、近くに靴やスリッパを常備しておきましょう。
- 非常時の用意
消火器・ハンマー等、避難経路の確保に必要なものは、すぐに取り出せる所にひとまとめにしておきましょう。
- 非常時の持ち出し品の用意
食料品関係・貴重品・衣類・靴・防災用品・照明器具・医療用品・携帯電話・簡易充電器なども、すぐに持ち出せるようにまとめておきましょう。家族で話し合いをして、非常時の避難経路や避難場所を決めておきましょう。

■ 実際に地震が発生した場合の行動要領

- 緊急地震速報(予報)の受信時、および地震発生時

1. まずは身の安全の確保

倒れやすい家具などから離れ、丈夫なテーブル・机の下に隠れてください。

2. 火元の始末

ガスコンロなどの火を止めてください。また、電熱ヒーターなどの熱源となる機器の電源も切ってください。

- 地震発生後(揺れが収まったら)

1. 避難経路(出口)の確保

2. 避難を開始

ガスの元栓を閉め、ブレーカーも切ってください。
家に避難先や安否情報をメモしたものを残していくようにしてください。
避難は、必ず徒歩で行ない、車などの使用は避けてください。
割れたガラスなどに注意してください。また、漏電・ガス漏れにも注意してください。

3. 火の始末

火が出ているのであれば、すぐに初期消火してください。
一人で手に負えないようであれば、すぐに近所に協力を求めるようにしてください。

4. 正しい情報収集

誤った情報に惑わされず、テレビ・ラジオなどで正しい情報を得て、的確に行動するようにしてください。

5. 余震に注意

比較的大きな地震が発生すると、その近くで再度地震が発生することがあります。この地震のことを「余震」といいます。一度地震が収まったからといって、倒れやすいもののそばに近寄りたりしないでください。

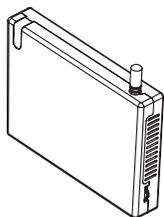
2

ご利用になる前に

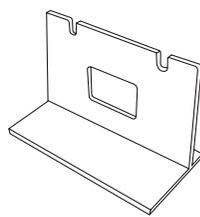
■ 梱包内容の確認

● 以下に梱包品の一覧を表示します。開封時に内容を確認してください。

● 本体 …… 1個



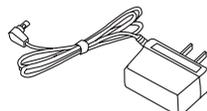
● スタンド …… 1個



● 分岐器 …… 1個



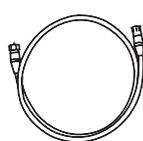
● ACアダプタ …… 1個



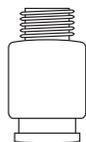
● 同軸ケーブル(小) …… 1本



● 同軸ケーブル(大) …… 1本



● 避雷器(アレスタ) …… 1個



● 取扱説明書兼保証書(本書) …… 1冊

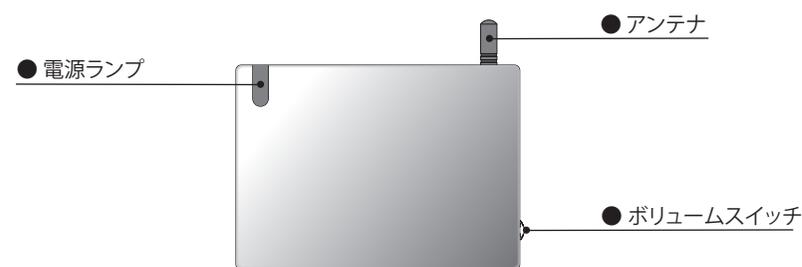
● 締付け工具(簡易スパナ) …… 1本

● バーコードラベル …… 2枚

3

各部の名称

■ 前面



● 電源ランプ

ACアダプタからの通電により点灯します。
また、通信異常時と報知時に点滅します。(点滅動作についてはP.20を参照してください)

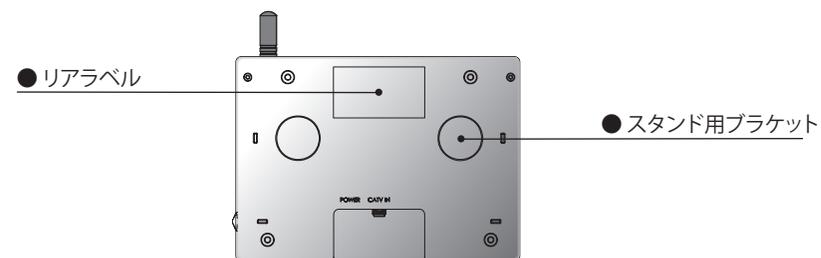
● アンテナ

オプションユニットのSH210-J-S(子機)に地震報知信号を送ります。
※SH210-J(F)のみ子機接続できます。

● ボリュームスイッチ

ボリュームの調整や詳細・曖昧表現等の設定をします。

■ 後面



● リアラベル

本製品のIDなどが記載されています。

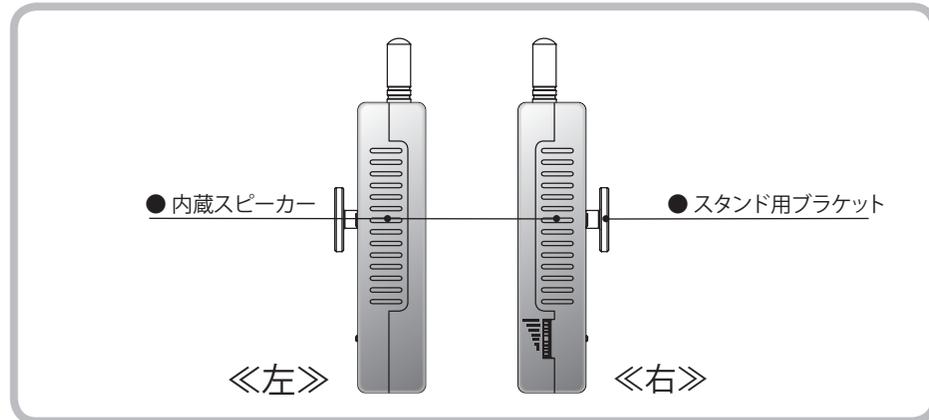
● スタンド用ブラケット

本製品をスタンドにかけるためのブラケットです。

3

各部の名称

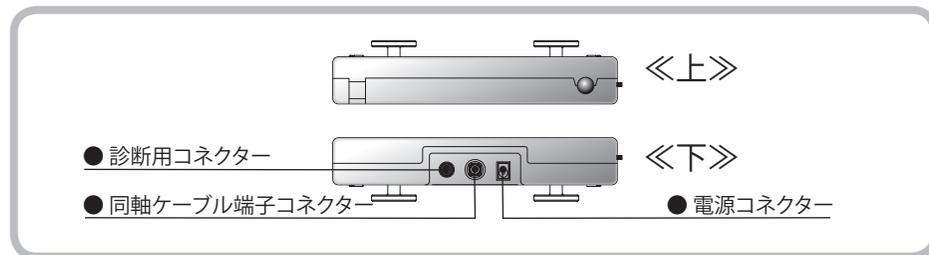
■ 左、右面



● 内蔵スピーカー (左・右)

ボリュームスイッチの操作音や緊急地震速報(予報)を報知します。

■ 上、下面



● 電源コネクタ

本製品専用のACアダプタを接続します。

● 診断用コネクタ

端末診断のための端子です。(お客様ではご利用できません)

※ イヤホン等を挿入しないでください。故障の原因となることがあります。

● 同軸ケーブル端子コネクタ

緊急地震速報(予報)サービスを受信する大切な端子です。同軸ケーブル(小)を接続します。

4

報知表現

■ 設置する前に

- 本製品はお客様のご加入CATV局が「緊急地震速報(予報)配信サービス」を実施していないと正常に動作しませんので、予めご加入CATV局へご確認ください。
また、お客様の購入した機器のIDと住所などの情報が該当地域のCATV局に登録されないで正常に動作(緊急地震速報(予報)が報知)しませんので、必ず登録を行なってください。
- ユーザー登録は、ご加入のCATV局によって方法が異なりますので、詳しくはご加入のCATV局へお問い合わせください。

■ 地震報知について

- 本製品は、ご加入のCATV局のセンターで緊急地震速報(予報)を元に各地域の到達震度、猶予時間を予測演算した結果を受信するものです。
- 緊急地震速報(予報)を受信した場合の各震度による報知内容
 - ・ 各地域に到達する推定震度と猶予時間を以下の表1と表2に準拠して報知します。
 - ・ 猶予時間が10秒以上の時の報知音は、各震度により表3の様になりますので、最初のアナウンスが聞こえなくても揺れの大きさを判断することが出来ます。

※ 緊急地震速報(予報)は、動作確認音と防災情報の報知より優先します。動作確認音や防災情報の報知の途中で地震が発生した場合、緊急地震速報(予報)の報知に切り替わります。

詳細表現	曖昧表現
震度 1、2、3	= 小さなゆれが
震度 4、5弱、5強	= 物がたおれるぐらいのゆれが
震度 6弱、6強、7	= 命にかかわるほどのゆれが

- 表1 -

詳細表現	曖昧表現
10秒 (0~19秒)	= すぐに来ます
20秒 (20~29秒)	= まもなく来ます
30秒 (30秒以上)	= もうまもなく来ます

- 表2 -

震度	報知音
震度 1、2、3	= ♪♪ - ♪♪ - ♪♪ - ♪♪ - (2回単音と1回休)
震度 4、5弱、5強	= ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ (1回単音の連続)
震度 6弱、6強、7	= ♪♪♪ ♪♪♪ ♪♪♪ ♪♪♪ ♪♪♪ ♪♪♪ ♪♪♪ ♪♪♪ (3回単音の連続)

- 表3 -

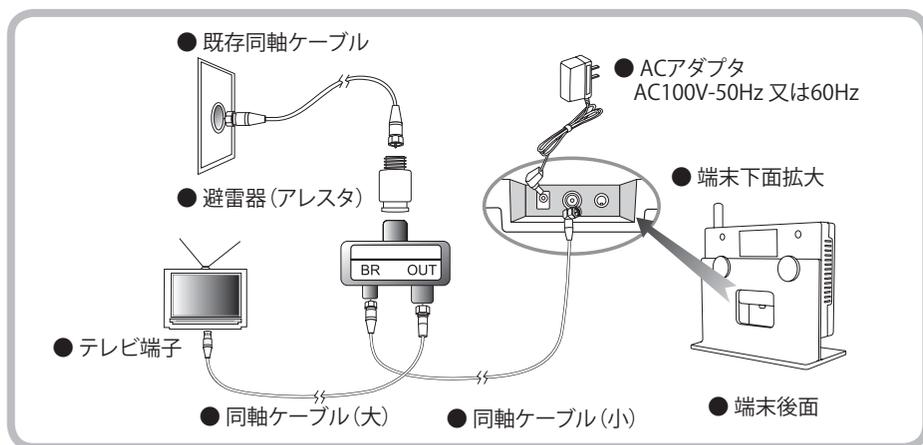
5

機器の接続と設置

■ 機器の接続方法

- (1) 本取扱説明書の「梱包内容の確認 (P.14)」の内容を確認してください。
- (2) ACアダプタの「L」型の端子と同梱の同軸ケーブル(小)の金色の端子をスタンドの穴の後ろから通してください。
- (3) テレビ、またはSTBやホームターミナルに接続されている同軸ケーブルを外してください。
- (4) 外した同軸ケーブルを同梱分岐器の「IN」に接続してください。雷対策として同梱の避雷器(アレスタ)をアンテナからの同軸ケーブルと分岐器の間に接続してください。
- (5) 同軸ケーブル(小)の金色端子を本体の「CATV IN」に接続して、反対側を分岐器の「BR」に接続してください。
- (6) (2)で通しましたACアダプタの「L」端子を本体「POWER」端子に接続してください。
- (7) 同梱の同軸ケーブル(大)を分岐器の「OUT(TV/STB)」に接続して、反対側を(3)で外したテレビ、またはSTBやホームターミナルに接続してください。
- (8) 同梱のスタンドに本製品を設置した後、ACアダプタをコンセントに差し込んでください。
- (9) (8)の接続後(約5秒後)に、電源ランプの下部のランプが点灯になることを確認してください。(ご加入のCATV局へのサービス申し込みが完了しておりませんと下部LEDが点滅します。)

※ STB：セットトップボックス

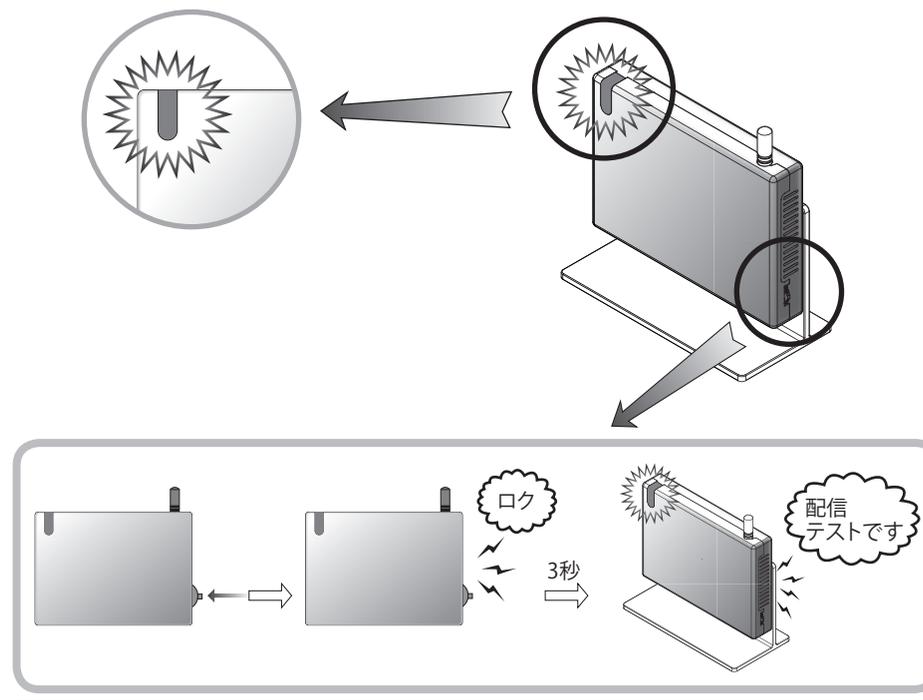


6

動作確認

■ 動作確認

- CATV局へサービス申し込みが完了していることが前提になりますので、申し込みを行っていない場合は、動作確認の前にCATV局へサービス申し込みを行ってください。
- (1) ACアダプタを接続してください。
 - (2) 約5秒後に電源ランプの上下が点灯することを確認してください。
※ 電源ランプが上下両方、若しくはいずれか片側が点滅している場合、または無灯の場合はご加入のCATV局へお問い合わせください。
 - (3) ボリュームスイッチを約5秒間長押しして、スイッチのロックを解除してください。(すべてのボタン操作終了後、約30秒後にスイッチが自動ロックされます)
 - (4) ボリュームスイッチを上下に操作し、ボリュームが変わることを確認してください。
 - (5) ボリュームスイッチをまっすぐに3秒間長押しして、電源ランプの点滅と同時に「配信テストです。震度5強、18秒後……」とテスト音声の報知をするか確認してください。
※ 配信テストの内容は、ボタンを押す度に内容が変わります。詳しくは、P.23を参照してください。
※ 報知テストの際、既にオプションユニット(子機 SH210-J-S)を設置しておりますと親機と同時に報知いたしますのでご注意ください。(※SH210-J(F)のみ)
 - (6) 上記(3)(4)の動作確認が出来れば、本製品の動作確認は完了です。



■ 電源ランプの表示について

- 本製品の電源ランプ部には、上下2つのLEDランプが内蔵されております。これにより端末の受信状態とサービス状態を表示します。
 - 上下とも点灯……
 - 正常に動作して緊急地震速報(予報)や防災情報の受信が可能な状態。
 - 上下とも点滅……
 - (a) 1秒間隔で点滅している場合は、CATV局からの信号が検出できない状態ですので、ご加入のCATV局にお問い合わせください。
 - (b) 点滅間隔が1秒より短い場合は、実際の緊急地震速報(予報)を報知しているときか、報知テストを行っている状態。
 - 下部のみ点滅……
 - ご加入のCATV局でお客様の端末に適切な設定が行われていない状態
 - 上部のみ点滅……
 - サービスが停止されている状態ですので、ご加入のCATV局にお問い合わせください。

■ 報知震度について

報知震度の設定は、お客様ではできません。ご加入のCATV局にお問い合わせください。

■ キャンセル報について

ごくまれに緊急地震速報(予報)を送った後にその緊急地震速報(予報)自体をキャンセル(取り消し)する速報が流れる場合があります。このキャンセル報を受信すると本製品より「緊急地震速報を解除します。防災機器はマニュアルに従って復旧してください」という音声がかかります。報知音声の中で「防災機器はマニュアルに従って復旧してください」という部分がございますが、この内容は、別途制御機器を取り付けている場合に関する部分であり、本製品を単体でご使用いただく中では関係ございません。従いまして、一切の操作は必要ありません。本製品で、このキャンセル報を受信した際には、直前の緊急地震速報(予報)が誤りだったと理解して頂き、落ち着いた行動をとっていただきますようお願いいたします。なお、CATV局のセンター側機器からは、到達震度が「1」(なお、この設定値が変更となる場合があります)以上と予測演算した対象エリアに対してキャンセル報を送信する仕組みになっております。端末の報知震度の設定によっては、緊急地震速報(予報)で報知動作をしていないにもかかわらず、キャンセル報のみを報知する場合があります。このような場合は、対象エリアに対して設定されている報知震度以下の緊急地震速報(予報)が配信され、その緊急地震速報(予報)がキャンセルされたと理解して頂き、上記同様落ち着いた行動をとっていただきますようお願いいたします。

■ 防災報知について

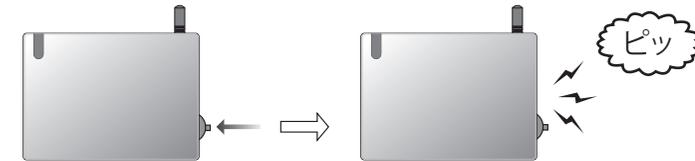
本製品では緊急地震速報(予報)以外に各地域の防災情報も報知可能となっております。報知の内容は「大雨」、「洪水」、「大雪」等の数十種類用意されています。詳しくはご加入CATV局へお問い合わせください。

■ 動作確認機能について

本製品は、正常動作(受信待受け状態)を定期的に確認する為に、任意時刻に任意の音声を鳴らす機能があります。この機能を作動させる場合の本製品設定方法を本取扱説明書P.22に記載しております。実施の有無、また実施を行なっている場合の設定任意時間・音声につきましては、ご加入のCATV局へお問い合わせください。

■ ボリュームスイッチのロック解除

- ボリュームスイッチを約5秒間まっすぐ長押ししてください。「ピッ」の音が出てスイッチのロックが解除され、スイッチ操作が有効になります。



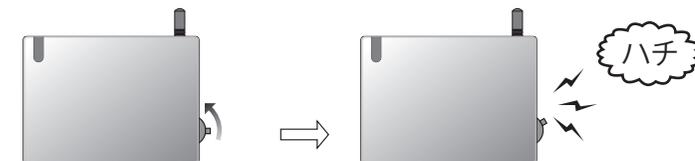
- スイッチ操作終了後、約30秒後にスイッチが自動ロックされます。
- 再度ボリュームの設定を行う場合には、5秒間の長押しでロック解除をしてから操作してください。

■ ボリュームの設定

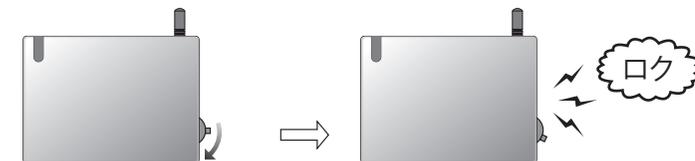
- 現在のボリュームを確認したい時スイッチをまっすぐ1回押します。



- ボリュームを大きくしたい時スイッチを上の方に押します。



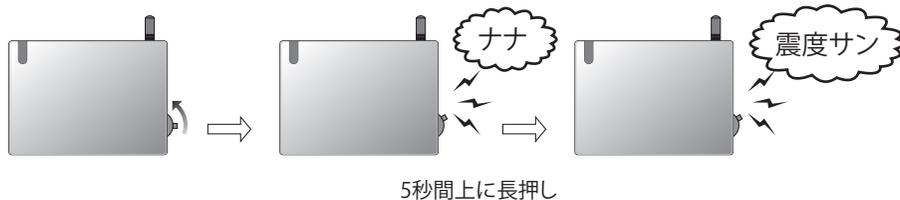
- ボリュームを小さくしたい時スイッチを下の方に押します。



- ※ 0~10の範囲で調整できます。
- ※ 0にしても無音にはなりません。
- ※ 設定が0の時にスイッチを下に回すと「ゼロ」と音声で知らせます。また、10の時にスイッチを上に戻すと「ジュウ」と音声で知らせます。

■ 報知表現の切り替え

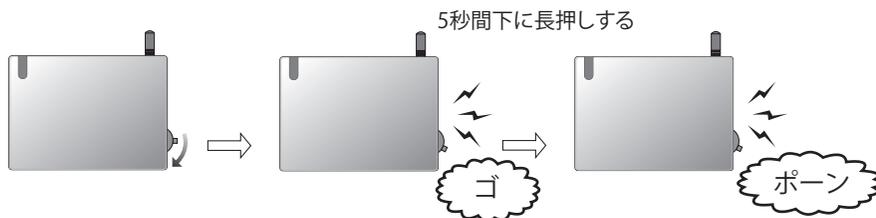
スイッチを上5秒間長押しします。
操作の度に「詳細」「曖昧」と切り替わります。



- ※ 詳細の場合、報知震度を読み上げます。
- ※ 曖昧の場合は、震度に相当する曖昧表現を読み上げます。
- ※ 上記の絵は、最初の設定ボリュームが6で「詳細」表現に切り替えた場合の例です。
- ※ 設定を切り替える為に、スイッチを上下に操作しますとボリューム値も変更されますので表現の切り替え後は、ボリュームの設定を見直してください。
- ※ 工場出荷時の表現設定は「詳細」設定になっております。

■ 動作確認音の受信動作切り替え

スイッチを下5秒間長押しします。
操作の度に動作確認音を「受信する」「受信しない」と切り替わります。

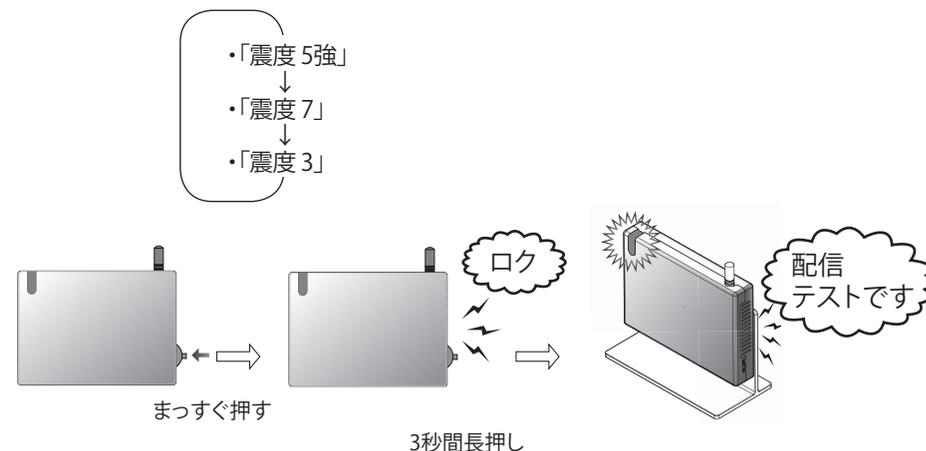


- ※ 受信するに切り替えた場合、「ポーン」という効果音でお知らせします。
- ※ 受信しないに切り替えた場合は、「ピッ」という単音でお知らせします。
- ※ 上記の絵は、最初の設定ボリュームが6で「受信する」に切り替えた場合の例です。
- ※ 設定を切り替える為に、スイッチを上下に操作しますとボリューム値も変更されますので動作切り替え後は、ボリュームの設定を見直してください。
- ※ 工場出荷時の設定は「受信する」設定になっております。
- ※ 動作確認機能の実施有無については、ご加入のCATV局にお問い合わせください。

■ 報知テスト

本製品の動作確認のため、地震報知のテストが可能です。

スイッチをまっすぐに3秒間長押しします。
報知内容は操作の度に、以下の順序で切り変わります。(いずれも猶予秒数は18秒後)



- ※ 上記の絵は、ボリュームが6の時に操作した場合の例です。
- ※ 報知テストを行なう際は、事前に周辺の方に知らせてから行なってください。
- ※ 誤って操作をしないように注意してください。

■ 定期点検

※ 本製品は安定稼働させるために、定期点検を行なってください。

● 日常の点検

- (1) 電源ランプの上・下両方が点灯していること
- (2) 報知テストを行ない、適切な音声で動作すること
- (3) オプション機器(子機、拡張ユニット)を使用している場合は報知テストを行ない、それぞれの機器も同様に動作すること、また適切な音量で報知内容が聞こえること

上記に係わらず本製品に異常が見られた場合は、直ちにご加入のCATV局へご連絡し本製品の点検を依頼してください。

■ 故障かな?と思ったらときにご覧ください。

- 電源を入れても電源ランプが点灯・点滅しない
 - (1) ACアダプタ接続後、電源ランプ点灯まで約5秒かかります。
 - (2) ACアダプタが専用(同梱)品かお確かめください。
 - (3) ACアダプタがコンセント、および本製品に正しく接続されているかお確かめください。
 - ※ ACアダプタはAC100V、50/60Hz専用です。
 - ※ 変圧器等をご使用の場合、その機器の仕様をお確かめください。
- 電源ランプの下側が点滅している

本製品の設定が正常に出来ておりませんので、ご加入のCATV局へお問い合わせください。

 - ※ 工場出荷時のまま設置いたしますと個別の設定が出来ていないため、下側ランプが点滅いたします。
- 電源ランプの上側が点滅している

緊急地震速報(予報)サービスが停止されておりますので、ご加入のCATV局へお問い合わせください。
- 電源ランプの上・下ともに点滅している
 - (1) 本製品に、同軸ケーブル(小)が確実に接続されているかお確かめください。
 - (2) P.18の接続図のとおり接続できているかお確かめください。
 - (3) 接続している同軸ケーブルが途中で外れていないかお確かめください。
 - (4) ごく稀に宅内配線等の問題で正しく信号が受信できない場合があります。宅内配線等をお確かめ頂き、問題がある場合には適切な処置を施してください。
 - ※ 同軸ケーブルの接続が出来ていない場合、上・下ともに点滅いたします。
- 急に音が鳴る
 - (1) 緊急地震速報(予報)以外に、動作確認音と防災情報を受信する機能があります。情報配信の有無については、ご加入のCATV局へお問い合わせください。
 - (2) 本製品のスイッチに他のものが当たっていないかお確かめください。
- 報知が途中で止まる
 - (1) ACアダプタが正しく接続されているかお確かめください。
- 揺れを感じたのに本製品が報知しなかった
 - (1) 演算結果が設定震度以下の場合は報知しません。
 - (2) 緊急地震速報(予報)が配信されているかをご加入のCATV局へお問い合わせください。
 - (3) 登録されている情報が正しいかご加入のCATV局へお問い合わせください。
- 本製品が報知したのに揺れを感じなかった
 - (1) 報知した震度が小さい場合は、揺れを体感できない場合があります。
 - (2) 登録されている情報が正しいかご加入のCATV局へお問い合わせください。

- ボリュームスイッチが操作できません
 - ・スイッチのロックが解除されているか確認してください。
 - ・ボリュームスイッチを約5秒間長押しして、スイッチのロックを解除してください。(すべてのボタン操作終了後、約30秒後にスイッチが自動ロックされます)
 - ・ほこり等が入って固定された状態になっていないかお確かめください。
 - 確認後、スイッチに不具合があるような場合は、ご加入のCATV局にご相談ください。
- その他

疑問点や本製品の不具合等がございましたら、まずご加入のCATV局にお問い合わせください。

 - ※ お問い合わせの際は、必ずお客様が使用している機器のシリアル番号(本体後面のバーコードに記載)をお伝えください。

9

仕様

- 名称 : 緊急地震速報(予報)受信装置
- 品番 : SH210-J(R)・(F)
- 電源電圧 : 100V(50/60Hz)
- 定格入力 : 6V-1A
- 待機消費電力 : AC待受け時0.9W、最大2.8W
- 内蔵スピーカー出力 : 500mW×2 (参考値:レベル10のとき84dB/距離1m)
- 寸法 : W140×H100×D22.9 mm(突起部除く)
- スタンド設置時 : 高さ122mm、底面寸法140×70mm
- 重量 : 180g(本体のみ)
- 材質 : 本体/難燃ABS、スタンド/アルミ
- 温度条件 : 0~60℃
- 湿度条件 : 40℃(93%RH)以下(但し結露しないこと)

SH210-J(F)のみ

- 子機との通信方式 : FM無線
- 使用周波数帯 : 449.7125~449.8875MHz
- 出力レベル : 1mW以下
- 電波到達可能距離 : 室内約30~50m(参考値)・・・※

※ 上記電波到達可能距離は参考値です。ご使用の環境において周辺電子製品の状態によっては、電波の到達に支障が生じる場合があります。親機からの信号を受信できないことがあります。弊社および販売元は、これによって発生したいかなる損害に関して、一切の責任を負いません。

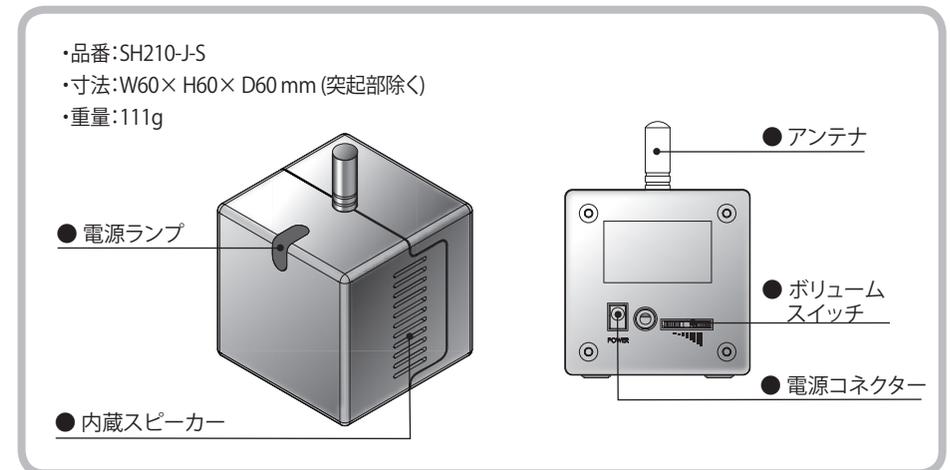
10

オプションユニット(子機)
SH210-J(F)のみ対応

■ オプションユニット子機 (品番:SH210-J-S)

このオプションユニット子機を使用することにより、本製品から離れている場所(例えば2階の寝室、子供部屋等)でも同様の報知を確認することが出来ます。
(本製品に対して接続できる子機の数に制限はありません。)

- ※ 子機は別売りとなっております。
- ※ 詳しい情報は、ご加入のCATV局にお問い合わせください。



- 電源ランプ
電源ON時に点灯。報知時は点滅に変わります。
- 電源コネクタ
オプションユニット子機専用のACアダプタを接続します。
- ボリュームスイッチ
本製品(親機)の認識やボリュームの調整を行います。
- 内蔵スピーカー
本製品(親機)から送信された電波により、本機器と同時に報知します。
- アンテナ
本製品(親機)からの報知信号を受信します。

11

保証規定

保証期間内に正常なる使用状態において、製造上または部品が原因で異常が発生した場合には、弊社の責任において保証いたします。

保証期間内に異常が発生し、検査が必要となった場合は、保証書をご提示の上、ご加入のCATV局にご依頼ください。

検査ご依頼時の送料等の諸経費は、お客様のご負担となります。また、検査や保証修理等で使用出来ない期間、地震速報を受信できなかったことを原因とする一切の損害費用の補償はいたしません。

本製品は、保証書に記載している事項が正しい場合のみ、上記事項に定めた保証をいたします。間違った取り付けや接続、その他の改造等をした場合は、保証の対象外となります。

下記事項については、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

1. 本製品の登録が行われていない場合、および保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の所定事項の未記入、または字句を書き換えられた場合、および使用者の変更が発生した場合。
3. 取扱説明書に記載された内容とは異なる方法で使用した場合の作業上の事故・故障および損傷。
4. 取扱説明書に記載されてある注意事項の不徹底により発生した場合の作業上の事故・故障および損傷。
5. ご使用上の誤り（水等の液体こぼれ、落下、水没）または改造して設置した場合の故障および損傷。
6. 本製品と併用して使う外部制御機器の異常が原因による故障および損傷。
7. 使用により生じた傷や塗装等の外見上の変化、および化学薬品の付着による表面処理の変化、および変質。
8. ユーザー登録した以外の場所に設置している場合。
9. お買い上げ後の輸送や移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適切な為に生じた事故および損傷。
10. 火災・地震・風水害・落雷その他の天変地異、および公害・煙害・異物混入・塩害・盗難・事故・異常電圧等による故障および損傷。
11. 有寿命部品や消耗品の自然消耗・摩耗・劣化等により部品の交換が必要になった場合。
12. 故障および損傷原因が本製品以外にある場合。
13. 付属品。
14. 1～13以外で弊社の責に帰することができない原因により生じた故障および損傷。

本製品に対する保証は前記の範囲に限られます。

本書記載の方法によりその目的が達成できるかどうかに関わらず、いかなる損害（地震速報を受信できなかったことによる損失、逸失利益、保存されていた情報の消失、事業の中断、データの消失、収益の損失、使用上の損害、またはそれ以外のいかなる種類の商業上または経済上の損失、特別損害、偶発的損害、間接損害、付随的損害、派生的損害を含む）について一切の責任を負いません。そのような損害が生じる可能性について、弊社が以前から警告を受けていたとしても損害に対する責任を負うことはありませんので、あらかじめご了承ください。

本保証書は、日本国内において使用することのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

12

保証書

本書は、保証規定の範囲で無料修理させていただくことをお約束するものです。保証期間内に故障が発生した場合は、弊社に修理をご依頼の上、本書をご提示ください（ご提示の際は、必ず複写した物を保管してください）。※保証期間中においても出張修理は行いません。

保証書、バーコードラベルは、いかなる場合においても再発行いたしませんので、紛失なさらぬように大切に保管してください。本保証書は、個人情報も記載されておりますので、保証書の保管はお客様の責任において行ってくださいますようお願いいたします。

本保証書は、本保証書に記載された内容により、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

MODEL	SH210-J (R) ・ (F) ※ いずれかに○を		
シリアル	(同梱のバーコードラベルを貼付してください。)		
お客様	ご住所		
	設置住所	※ 設置する場所が上記と異なる場合のみ、記入してください。	
	お名前		
	電話		
販売業者	E-mail		
	販売業者（設置工事業者）名・住所・電話番号		
保証期間	年	月	日より 1年間

切り取り線

13 その他

- 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一不審な点や誤り等、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは著作権法上、弊社に無断で使用できません。
- 本製品の仕様、価格、外見等は改良等により予告なく変更することがあります。
- 本製品は、日本国内での使用を前提に設計したものです。海外では使用しないでください。
- 本書に記載されている社名や商品名は各社の登録商標または商標です。

No	発行日付	履歴	備考
1	2017年12月15日	初版	初版発行